

北海道や本州中部以北に主に分布する落葉広葉樹。エンジュの名前で流通している木材は、ほぼこのイヌエンジュ属のイヌエンジュ。エンジュ属のエンジュは中国原産で街路樹などに植栽されています。また、ハリエンジュ属のハリエンジュ（別名ニセアカシア）は米国原産で蜜源植物として有名、全国で野生化しています。いずれも仲間のマメ科の樹木ですが、木材名や似た樹名が入り乱れて混乱しがちです。

イヌエンジュの芽吹きは非常に美しく、新葉は白い毛に覆われ、陽にあたると銀色に輝いてとても目立ちます。葉は奇数羽状複葉、小葉は卵型です。夏、黄白色の小さな花が房状に枝いっぱいに咲きます。ハリエンジュの花は初夏に下向きに咲きますが、イヌエンジュはハリエンジュの花より遅く、夏に上向きに咲きます。秋に豆果が熟すと、散開して種を飛ばします。

材は、心材は濃い褐色、辺材は白っぽく、色の違いが明瞭な美しい良材です。色味を生かして高級な床柱や木工芸品に利用されてきました。学習館でもイヌエンジュを利用した木工商品を販売しています。



芽吹き 2025年5月17日



葉 2020年6月8日



幹 2025年6月14日



花 2021年7月26日



実 2024年9月6日



冬芽 2023年3月9日 【右】輪切りした材

森林ふれあい学習館 ギャラリー 展示

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

『すぐりの会』第6回作品展

2025年8月2日(土)～31日(日)

岩手山麓の美しい自然のなかで、水彩画を中心とした絵画や写真を楽しむ仲間たち。画材は静物、時には野外へ風景のスケッチに出かけます。

【すぐりの会紹介】現在会員は10名。月1回、八幡平ハイツで、和気あいあいと自由に2時間集中して絵を描いています。特に指導者は無く、こう描かねばならないという観念に捉われず、表現、創造の自由、美の発見の心を大切にしたいというモットーです。新規会員募集中です。



県民の森の秋と啄木

～案内人 啄木ソムリエ・山本玲子～

2025年9月3日(水)～
11月3日(祝・月)

石川啄木が詠んだ秋の風景
岩手山の麓、県民の森で味わってみませんか。



秋立つは水にかも似る
洗はれて
思ひことごと新しくなる



岩手県森林公園

県民の森だより

2025.

8

Vol.235

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



タマゴタケ（昭和の森） 2024/7/22

春から初夏の森のなかでは、次々と咲く草木の花に目を奪われてきましたが、夏になると様々なきのこが目立つようになります。色鮮やかなきのこ、変わった形のきのこ、、、草木の花を愛でるように、きのこを愛でてみませんか？

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレスト i

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

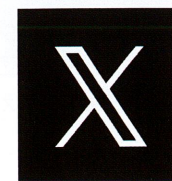
開館時間：9:00 ～ 16:00 火曜休館（祝日の場合翌日振替）

アイ

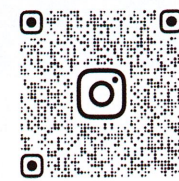


岩手県県民の森 検索

Instagram 始めました



@forest_iwate



@MORI_IWATE

県民の森のきのこたち

私たちが「きのこ」と呼んでいるのは、植物でいえば花に該当します。ここで植物の花粉にあたる「孢子」が作られ、それらが飛散して他の孢子と出会うと子孫を残します。きのこは「菌類」。カビの仲間では本体は「菌糸（きんし）」です。きのこの下には菌糸の集合体である「菌糸体」があり、樹木や土、落ち葉の中に広がって、栄養や水を得ながら生活しています。草木の花を愛でるように、きのこに会いにきませんか？

タマゴから出てくるよ



2024/7/21 タマゴタケの幼菌。夏から秋にかけてボコボコと白い卵のような姿で出てきて、割れるとなかから赤いきのこが出てきます。

【右上】ミヤマタマゴタケ 2023/9/22 でてくる卵もとても大きいです。

森の中のメロンパン



2024/8/25 アカヤマドリの成菌。まるでメロンパンのように見えます。大きなものは傘が20 cmを越えるものもあり、存在感抜群です。

【右上】幼菌 2024/8/20 NTTのドコモタケのような形状で可愛らしいです。

変わった形のきのこ



2020/11/4 ツチグリ 夏～秋、孢子が熟すと外皮を開いて（星形の部分）出てきます。真ん中の球形部分に雨粒があたったりすると孢子が吹き出します。

【右上】2025/5/3 シロキツネノサカツキモドキ 赤い茶碗のような形で白い毛が生えている美しいきのこです。孢子は茶碗の内側でつくられて上に向かって発射されます。

腐敗臭を放つきのこ



2023/7/4 サンコタケ【右上】2024/8/31 キツネノロウソク スッポンタケの仲間、グレバと呼ばれる粘着質で強い悪臭を放つ液体を出し、独特の匂いで、ハエなどを呼び寄せて孢子を運んでもらいます。グレバの場所はサンコタケは上に伸びる腕のような部分の内側、キツネノエフデは頭部の赤い部分の先です。

白いきのこ



2024/9/6 タマシロオニタケ 【左下】2024/8/12 ドクツルタケ 森のなかで出会う白いきのこはまるで妖精のようで、ドキドキします。

ドクツルタケは死に至るほどの猛毒ですが、魅惑的な美しいきのこです。

小さな、大きな テングタケ



2024/8/18 小さな小さな美しいヒメベニテングタケです。隣のどんぐりの大きさと比べてみてください。【右上】2023/7/21 テングタケ

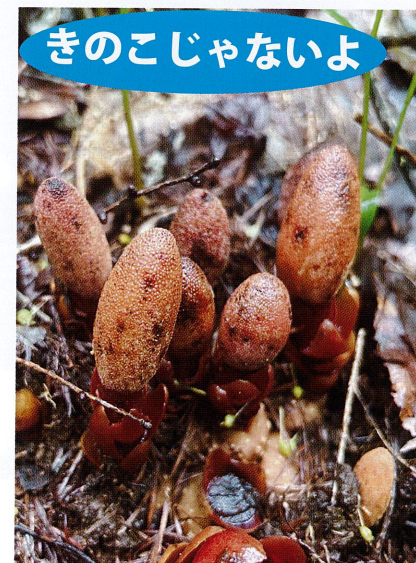
【右下】2024/8/25 ハイカグラテングタケ 超大型のテングタケです。

虫から出てる！



2021/9/13 カメムシタケ 冬虫夏草（とうちゅうかそう）の仲間は、主に昆虫に寄生して殺し、その後できのこを生やします。種類によって寄生する相手が決まっています。カメムシタケはカメムシ類の成虫から生えます。

きのこじゃないよ



2024/8/13 ミヤマツチトリモチの花

きのこのような姿ですが、高さ8-14 cmになる多肉質の多年草です。カエデ類などの樹木の根に寄生して栄養を貰って生活しています。写真はウリハダカエデに寄生していました。



2024/7/10 シャクジョウソウとギンリョウソウの花

どちらも菌従属栄養植物。葉緑素がなく光合成を行わずきのこから栄養をもらって生きています。ギンリョウソウ（写真の白い透明な花）はベニタケの仲間、シャクジョウソウ（褐色の花）はキシメジの仲間を利用します。

もじゃもじゃ頭みたいなきのこ



2024/8/25 シャカジメジ 密生して生えている成菌の姿が、釈迦の髪型に似ていることが名の由来です。

【右下】ハナビラタケ 2024/7/31 白い花びらを沢山集めたようなきのこで針葉樹の根腐れ部分を分解します。このあたりではカラマツの根元で出ることが多く「カラマツマイタケ」と呼ばれています。

色とりどりきのこ



2023/9/13 アイタケ 夏から秋。傘が鮮やかな青緑色のきのこ。古くからの草木染の「藍色（あいいろ）」が名の由来。

【右上】ムラサキシメジ 2023/10/27 美しい紫色のきのこ。晩秋に落ち葉の中から出てきます。

県民の森 森のイベント

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

森林ボランティア活動 2025年8月30日（土） 10:00 ～ 12:00

岩手県県民の森の森林整備活動に参加するボランティアを募集します。作業終了後に豚汁のふるまいがあります。

【すべての方対象】

【定 員】20名

【参加費】無料

【集 合】9:45 に森林ふれあい学習館



講師：岩手菌類研究同好会

きのこ教室 2025年9月13日（土） 9:00 ～ 12:30

園内できのこを採取して、講師から菌類としてのきのこの不思議な性質について、ポイントを学びます。

【初心者対象】

【定 員】20名

【参加費】3,000円

【集 合】8:45 に森林ふれあい学習館

